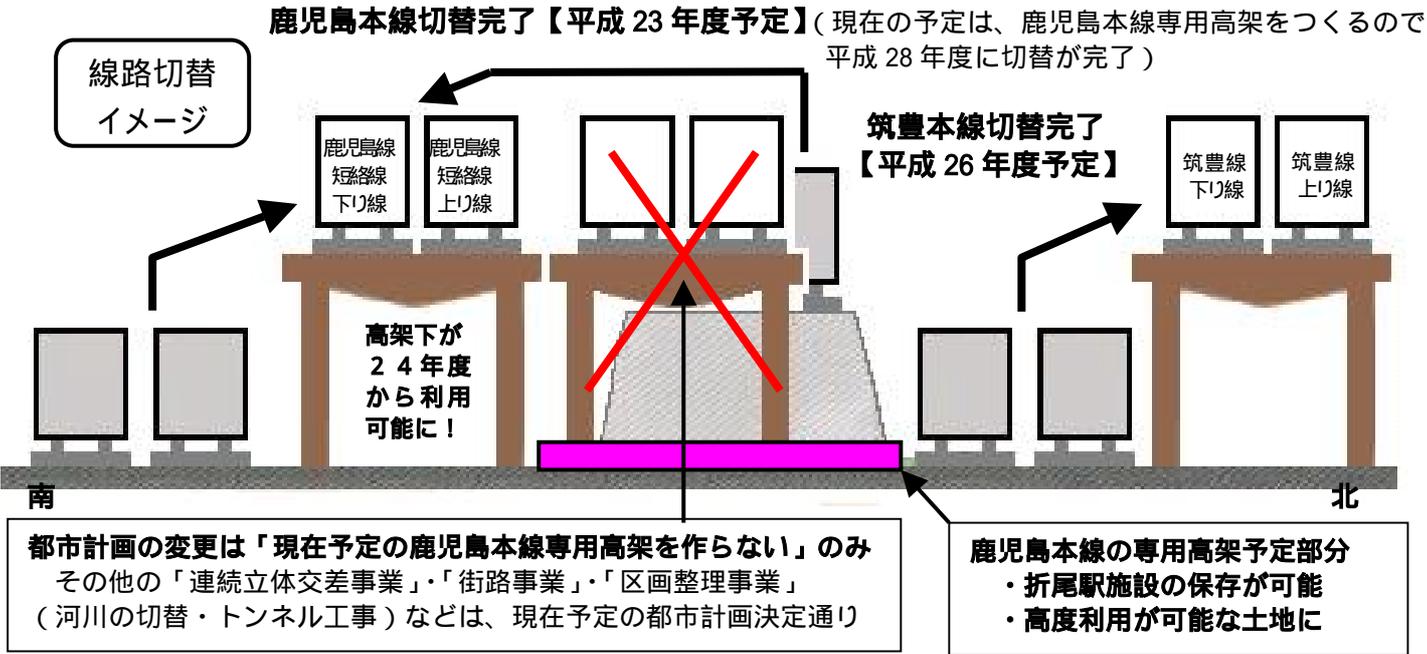


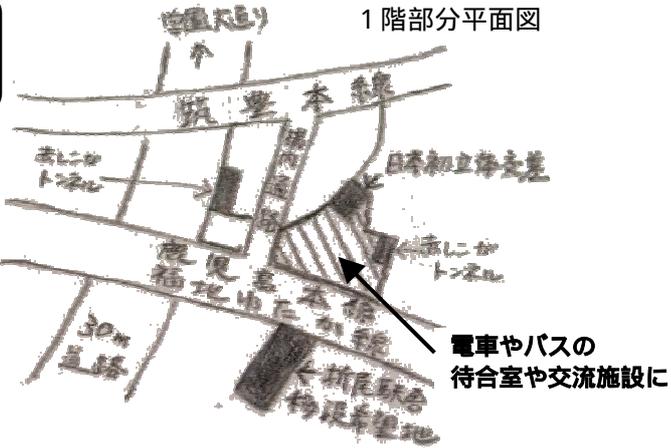
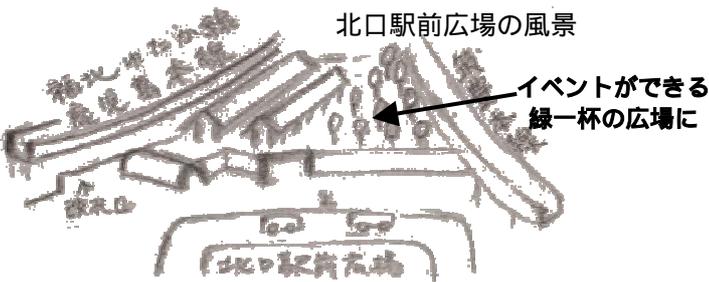
鹿児島本線と福北ゆたか線の高架を共同利用する提案（蒔田加代の私案）

『折尾駅』は、門司港駅や東京駅と並ぶ歴史があるにもかかわらず、線路の高架事業により解体される予定です。またこの事業は、工事期間が15年間と長く、その間に折尾の街が衰退することが予想されます。

でも、「鹿児島本線と福北ゆたか線の高架を共同利用」することで、『折尾駅舎以外の歴史的駅施設も残す』ことができ、『工事費の軽減、工事期間の短縮、有効利用できる土地が拡大』というメリットがあります。（折尾駅舎は移築保存を検討中）



折尾駅の「歴史的駅施設」と「新駅」の融合で「折尾らしい駅」を考えました！！



- ・ 折尾駅の歴史的遺産（日本初の立体交差・赤煉瓦のトンネル・ホーム部分など）を残せます。
- ・ 歴史的遺産は、実際に活用できる遺産として残せます。
- ・ 新駅を利用する人にも、歴史的遺産を資料館のように見ることにより、折尾の歴史を伝承することができます。
- ・ 電車やバスの待合室、交流施設・緑一杯のイベント広場などができます。
- ・ ユニバーサルデザインで温かみがあり、利便性が高く安全な駅になります。

コンコース部分から、ガラス越しに見た歴史的遺産側面図

